

森川除のシラカシ

所在地：庄原市東城町森

指定年月日：未指定

所有者：石田 繭子

根回り周囲：4.04m

胸高 幹囲：5.37m

樹 高：約 25m

シラカシは、本州から九州、中国にも分布する常緑の高木である。葉は長さ4~13cmで、やや皮革質で端正なイメージがある。裏面は緑白色であるが、あまり白くはなく、やや白味がかかる程度である。4~5月に尾状の雄花序が下がり、堅果（ドングリ）はその年の秋に稔る。殻斗は、6~8の環があるのが特徴である。山地に生育している状態では、直幹がすらりと伸びて、樹高は20mほどになる。和名は葉の白さではなく、材が白いことに由来する。

古くから器具材に利用されてきたが、現在では公園樹や庭木として利用されている。

本樹は、石田家の墓地に位置することから、伐採されることなく大切に守られてきたものと思われる。

